

今回の暗殺ミッションも
俺と舞花なら簡単なはずだった：
2人なら一瞬で終わらせられる：
その筈だった…

だが現実には俺の小さなミスで
暗殺は失敗に終わった：
俺は拘束され
舞花はあられもない姿で
ターゲットの男の慰みものに
される寸前だ：





心配するな：お前は完全に拘束されているが
私はこの男の肉体だけだ
隙を見つけて振りほどきすぐに殺す
お前はいつでも動けるよう準備しておけ

お前との性交でもなかなか
イケなかったのだ…
私のことは心配せずともよい：

その瞬間奴のち○ぽが舞花の穴を貫いた

んっ：
そっちの穴を使うのか…！
だが問題はないっ
この程度で屈するものかっ

今に隙を見つけて
殺してやる！！っ！



10分後

こ：こいつ：
なんてねちっこい：
ふううっ：んっ：
それに：やっぱりでかすぎるっ！

この：ままでは：

いやっその前に隙をみつけ！
おおん♡♡：んっ：
こ：ころす！：ふうーっ

舞花：耐えてくれ！



あんっ♡んふうっ!
だ：大丈夫だ：
もうすぐ…：もうすぐだから…
この私がそう簡単に堕ちると
思うな!

ふっ!ふっ!ふっ!ふっ!
ふおっ♡っ!
わ：私を感じているのか??
こんなゲスな男のち○ぽでっ!

ばちゅ♡

ばちゅ♡

そつて……



おおおおおお！
おっ♡おっ♡おっ♡
やばい♡あーイキそっ♡
肉槍つよい♡♡♡♡♡

お、い♡
おお、♡
お、♡

ちゅ♡
ぽ♡

ちゅ♡
ぽ♡

タラタラ♡
トクッ♡

ぐうううっ！
イぎたくない！
イぎたくないっ！
んぐおおおお！！

た：たしゅけてえっ！！

んぶうううう♡♡♡♡♡
イっちゃうイっちゃう
おま○こいっぐうううう♡♡♡♡♡

ギ
チ
チ

ん
ぐ
♡

ん
ぐ
♡

ぱ
っ
ち
ゅ
ん

ぱ
っ
ち
ゅ
ん

だ
ん
だ
ん
〜

び
び
び





あれから何分たっただろう
男は何度も舞花のアナルに吐精を続けた
舞花の瞳にはなにも映っていない
これでは本当にただの肉オナホだ：

舞花は断続的に痙攣をし
その度にま○こから潮を吹いている
元：戻れるのだろうか……



あひゃあ、♡

ちろほ、♡

ほ、♡

いそ♡

あー♡

ちろほおー♡

ブリュンツ

ヒクッ
ヒクッ

俺のメンタルも限界だ
一時的に意識を断つとしよう



目が覚めるとそこには
穴という穴を使われ
完全に雌になっている
舞花がいた：

何やってんだよ…
舞花の舐めてるそれ
今回のターゲットの急所だぞ？
なんでこびへつらってんだよ…！

なあ舞花：俺たちは最高のコンビだよな？























